

Dr.クマの“健康のヒント”



膵臓がん

往年の名女優、八千草薫さんが膵臓がんで亡くなった。衝撃を受けた方も多いのではないかと思う。最近のがんによる死亡の中で膵臓がんによるものが増えてきており、21世紀に残された最後の課題とも言われている。その理由は、早期発見により治療できるがんが増えてきた一方で、膵臓がんについては早期発見が難しいことによる。膵臓は消化を助ける酵素や血糖をコントロールするインスリンを分泌する臓器であるが、腹部の深いところにあり、がんができてはじめて他の臓器を圧迫することによる症状が見られることが多い。症状としては、腹部や背中

の痛み、食欲不振、体重減少や、胆汁の通り道を塞ぐことによる黄疸などがあるが、このような症状でみつかった場合に手術ができる大きさである可能性は低く、術後の成績もほかのがんに比べて良いものではない。早期発見が一番ではあるのだが、有効だとされている検診の方法もないため、自分でいつもと違う自覚症状が出てきた場合、特に消化器関連の症状が続く場合に、医療機関を受診して発見する以外にないと思われる。このところ、がんの診断法や手術以外の治療法も格段に進歩を続けていることから、膵臓がんについても、診断と治療が難しかったのが昔話になる日が来るだろう。その日ができるだけ早く来ることを祈っている。

(北里大学医学部 教授 熊谷 雄治)

詰 碁

黒 先

出題 土井 誠 八段

〔ヒント〕
白にダメヅマリをねらって生きる筋があります。

〔あなたの棋力は？〕
5分……………初段
(解答は87頁)

詰 将 棋

出題 石田 和雄 九段

〔ヒント〕
初手が急所。角成がトドメ。

〔あなたの棋力は？〕
5分……………二段
10分……………初段
(解答は87頁)